

# 草津市教育委員会会議録

平成29年10月定例会

(10月30日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	川那邊 正
	委員	杉江 由紀子
	委員	周防 直美
	委員	檀原 泉
	委員	中西 長雄

議事参与	政策監	佐々木 亨
	教育部長	明石 芳夫
	教育部理事（学校教育担当）	中瀬 悟嗣
	教育部専門理事（歴史文化担当）	八杉 淳
	教育部副部長（総括）	田中 義一
	教育総務課長	松浦 正樹
	スポーツ保健課長	岸本 久
	文化財保護課長	藤居 朗
	図書館長	北相模 政和
	学校教育課長	高井 育夫
	学校政策推進課長	宇佐 恒浩
	生涯学習課参事	吉田 万里

事務局	教育総務課参事	川原 圭一
-----	---------	-------

開会 午後 3時30分

川那邊教育長

それではただいまから、草津市教育委員会10月定例会を開会いたします。まず、新たな教育委員として中西長雄さんをお迎えすることになりましたので、自己紹介をお願いいたします。

中西委員

失礼いたします。中西長雄と申します。これまで私は、滋賀県の公立の高等学校の教諭をしてまいりました。また、退職後は草津市の「ゆうゆうびとバンク」等を通じまして、色々な書道での活動を継続してやってまいりました。

この度、市の広報を見て教育委員の募集を知り、教育委員をさせていただくことになりまして、私も役に立てることはないかと思っていたんですが、今年、草津市の文化振興条例が施行されまして、それに基づいて私も教育委員としてできることはないかと考えておりまして、皆さまがたの御協力を得て、そちらの方でもいろいろできたらいいなと考えております。

また、小学校・中学校それぞれの教育のもと、いろいろな子どもがいる中で、書を通じてということではないのですが、子どもたちが自己表現できる場、またそういった機会を作っていきたいと私は思っております。なにぶん、教育委員会というものもよく分かっていませんけども、一つ、御指導いただきましてよろしくお願ひしたいと思ひます。

川那邊教育長

ありがとうございます。

—————日程第1—————

それでは、議事に入りたいと思います。

日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りといたしたいと思ひますが、御異議ございませぬか。

各委員

— 異議なし —

異議がないようですので、10月定例会は、本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

川那邊教育長

次に、日程第2、「9月定例会会議録の承認について」であります。あら

かじめ事務局から配付され、熟読されていると思います。また、委員交代がありましたことから、前委員には事前に御確認をいただいておりますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

川那邊教育長

異議がないようですので、9月定例会会議録は、承認されたものと認めます。

—————日程第3—————

川那邊教育長

それでは、次に日程第3、「教育長報告」に移ります。

今回は、過日、任期満了となられた谷川教育委員に代わり、10月12日付けで新たに就任いただきました、中西長雄さんを迎えての初めての教育委員会です。中西委員におかれましては、高校教育に携わってこられ、また、書道では、本市はもとより県内外の芸術文化の振興にお力を発揮していただいています。地域では農業委員の御経験もあり、また、保護司として御活躍中です。中西委員とともに、今後も、委員全員が力を合わせ、「子どもが輝く教育のまち、出会いと学びのまち・くさつ」の実現に取り組みたいと思います。よろしくお願いたします。

それでは、まず、10月10日付けの人事異動について報告します。御承知のとおり、平成36年度の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会におけるプール整備を、滋賀県と草津市とが共同で行うことになりました。今後、本市が取り組むべきことは山積しており、スポーツ保健課に施設整備グループを新設するとともに、新たなメンバーを加えて、平成34年度末のプールの完成に向けて着実な取組を進めていきたいと考えています。

次に、4日に開催された第2回総合教育会議のことを報告します。委員の皆様には、貴重な御意見とともに、市長との意見交換でも活発な御議論をいただきありがとうございました。

今回の会議の協議内容は、「自己肯定感と学力」「家庭学習習慣と学力」でした。志津小学校からのプレゼンでは、「アクティブ・ラーニングの授業づくり」、「学校生活と学習規律の確立」、「学習に向かう姿勢づくり」、「家庭学習の習慣化」を重点事項とし、その具体的な取組を聞かせていただきました。

特に、授業ではICT機器が効果的に活用され、児童の協働学習が進んでいると感じました。けん玉も、今や学校の特色となり、児童の集中力や向上心を育む上で効果的です。また、夏休みに教員が地域に出かけ、児童の学習を支援するサマースクールは、児童の学習意欲や学習習慣の定着に繋がっていると感

じました。

このような努力により、学力は着実に向上しているということですし、今後、市内各校においても、それぞれの学力向上策による取組を一層進めていただくことを期待しています。

なお、協議の内容については、市民の皆様にも見ていただけるようHPで公開します。

次に、多くの展覧会が開催されていることについてです。

第55回草津市美術展覧会では6部門232点の出品がありました。併せて第62回宗鑑忌俳句大会、第13回草津市青少年俳句大会も実施され、合計で5,626投句応募があり、これも昨年を上回り、過去最高の応募でした。

「俳句のまちづくり」に向けて、今後も気運を高めていきたいと思っています。

第55回青少年美術展覧会でも1,901点もの子どもたちの作品の展示がありました。青少年美術展覧会は県内最大級の展覧会で、入場者数は7,394名でした。第32回草津市児童生徒科学研究・発明工夫作品展にも、小学校から271作品、中学校から52作品が出品されました。また、中学生の部では、玉川中学校の二人の生徒と科学部の作品合計3点が、県に出品された中から入賞作品として選ばれました。

ほかにも、「近江を学ぶ 草津を識る」をテーマに立命館びわ湖講座も始まりました。172名もの応募者があり、市民の学習意欲の高さを感じます。

草津宿街道交流館では、秋季テーマ展「名所をたどる一東海道五十三次のイメージ」を開催中です。図書館でも今年で第6回となりました「図書館まつり」があり、多くの人でにぎわいました。南草津図書館では、「ハロウィン・クイズラリー」など、興味を引く企画を行っていただきました。

次に、姉妹都市であるミシガン州ポンティアック市から中学生11名、引率11名の22名の使節団をお迎えしたことについてです。10月23日に到着され、11月3日まで滞在されます。今、小中学校での授業体験や交流活動、ホームステイ、日本文化の体験、市内施設見学などを通して友好を深めています。また、国際交流、異文化理解の機会でもあり、私たちも英語を使おうと努力しています。今回のウェルカムセレモニーは、司会や挨拶はすべて英語で行ったり、中学校の先生に英語で草津の紹介をしてもらったりと、工夫を凝らしました。

この秋、教育委員会においても多くの充実した取組ができ、市民の皆様からも評価をいただいていることをうれしく思っています。また、各地域では、地域のイベントやお祭り等が行われ、住民が交流を深める絶好の機会となっています。そのなかで、子どもたちも地域の皆さんに支えられて成長していることを感じます。

ただ、残念なのは、恒例の「ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU」、さらには、「くさつ健幸ウオーク」が悪天候で中止となったことです。ジュニアスポーツフェスティバルは子どもたちが楽しみにしている行事で、また、立命館大学との連携という面でも貴重な取組です。また、「くさつ健幸ウオーク」は、ウォーキングを通じてスポーツ健康づくりを推進するための初めての企画です。準備等に力を注いでもいただいたので、心苦しく思っています。

最後に、26日、大阪市で行われた近畿都市教育長協議会に参加をしました。「未知の状況にも対応できる力の育成」をテーマに、有意義な情報交換ができ、今後も近畿の各都市の教育長との連携を深め、草津の教育の充実に繋げていきたいと思っています。

以上、今回の教育長報告といたします。

それでは、委員の皆様から、10月にあった行事や教育全般に関する事項で、特に御意見・御感想などがございましたらお願いします。

杉江委員

9月23日に開催されました、「いのち・愛・人権のつどい」に参加させていただきました。拉致被害者であります蓮池薫さんのお話と横田めぐみさんのドキュメントアニメ「めぐみ」というものがございまして、それらを聞かせていただきました。北朝鮮の度重なる挑発行動の真ただ中ですので、会場には入りきれないかたがたがたくさんおられたということでした。

お話の中で、「拉致というのは夢を持つという選択の自由が全て奪われる、家族やこれまでのきずなを全て奪われて、命以外の全てを奪われることだ」というお話は、私の中でたいへん強烈でございました。生々しい拉致の状況も話されまして、その話をされているときの会場はほんとうに微動だにしないという雰囲気がございまして、もっとももっと関心を持って、今のこの深刻な状況を自分のことのように捉えて考えていけないと思いました。

次に、運動会でございますが、私は7つの幼稚園に寄せてもらいました。雨が続きましてので、体育館に会場を移されたり、プログラムを変更され時間短縮を図られた園が多かったです。特に印象深かったのが、5歳児の育ちについてです。子どもたち同士で目くばせや合図をしながら演技を進めているという姿に出会うことができ、この姿というのはやはり小学校の「協働の学び」に繋がっていくのかなと思いました。

最後ですけど、地元の学区の区民体育祭に参加してまいりました。ここ数年感じていることなんです、今年も特に印象的だったのが、小学生・中学生の参加がとて多いなということを感じました。町内の期待や応援を受けてリレーをするんですが、大盛り上がりでございまして、大変な歓声でした。また、競技に出ないけど来ているという中学生に出会って、とてもうれしく感じた

ころでした。地域のかたと学校との良好な関係が今まで以上に結ばれている、それがこういった場にも成果として表れているのかなとうれしく思いました。

第2回総合教育会議では、「全国学力学習状況調査」の結果を受けての協議ではございましたが、その中で自己肯定感と学力についてというものがございまして、地域の行事に参加する子どもたちは、自己肯定感というものがこういう場でも大きく育つのかなと強く感じた次第でございます。

私も9月の末のことになりますが、小学校で1日の間にたくさんの運動会が開催された日がありましたので、駆け足ですけれども、できるだけ多く頑張っ  
て回ってきました。その中で一番感動したのが、二つの学年の子どもたちが「よさこいソーラン」の演技をされている姿が、非常に印象深く残っています。二つの学年ですから少しずつ雰囲気が変わってくるんですが、それでも一生懸命演技をする姿は非常に感動しました。

また、別の学校ですけれども、「組体操」をされている姿にも非常に心打たれました。一生懸命、音楽・合図に合わせて一つ一つの演技を丁寧にやっ  
て、支える側にまわる人間の、仲間がけがをしないよう一生懸命支えるという姿が本当に感動する演技だったので、各小学校の取組は素晴らしいと感じた一日となりました。

それと、秋でございましてたくさんの文化的な行事がありました。まず10月の初めには草津市美術展覧会がございまして、今日から来ていただきました中西委員さんの作品も拝見させてもらいましたし、皆さんが力のこもった作品を展示されている姿に、それぞれに自分の生きがいを持って取り組まれている  
ということの素晴らしさを感じました。

後半の方は、子どもたちの草津市青少年美術展覧会が今回55回目ということで、先ほど紹介もございましたが、たくさんの素晴らしい作品で、みんな一つ一つについて、作った子どもたちにインタビューをしたいような、ストーリーを感じるような作品が、平面においても立体においても、また書においても  
ございました。段ボールを使った作品の中に、戦車を作ったものがあって、立体にした意図はどういうものなのだろうと近づいてみると、そこには草に絡まっているような状況のなかで、大砲の部分には小鳥が留まっていました。つまりこれは、平和を希求する姿を表現しているというような言葉が添えられてお  
りまして、本当に子どもたちもいろんなことを、美術の教育をしながらも感じてくれているんだなということを感じました。

非常に多様な作り方であったり、壮大な工夫をされているところに、各学校の美術の先生の苦心を感じることもできまして、書道の方でも筆だけではなくて段ボールの紙を使った書道の取組をされているような学校もありまして、非

常に草津の美術のレベルの高さ、また子どもたちの生き生きとした表現の自由にやっている姿、一つ一つを丁寧にしている姿に、非常に心打たれるものがございました。

その他にも、宗鑑忌の俳句大会にも顔を出させていただいて、雰囲気だけですけれども味わわせていただくことができました。ここでもたくさんの人たちが自分の世界を持っているんだなということを垣間見させていただくことができ、本当に良かったなと思っています。街道交流館では名所の案内をする展示も拝見させていただいたのですが、是非たくさんの人に見て欲しいなというような、浮世絵を使った素晴らしい展示もありましたし、当時の江戸時代においても、今の私たちと同じような、旅をする人たちにとって役に立つガイドブックのようなものが作られていたということも展示の中にありまして、非常に素晴らしい展示をされているなと思いました。

最後ですけれども、先日の土曜日と日曜日10月28日、29日に、野洲の方で滋賀県人権教育大会がございまして、私も1日目の方だけですけれども参加いたしました。前半の午前中は野洲市の生水さんという方が、野洲市の貧困対策についてというテーマで発表されました。

野洲市役所は、困っている人がすぐに目当ての場所に辿り着けるような配置になっていて、職員の対応についても工夫をされているそうです。困っている子どもやその家族に対して、何ができるかということを考え、職員が動き回って対応するのだということを知りました。そして、救えない人が一人でも存在する制度は、制度として成り立っていないという方針のもと、最後まで困っている人達を支えていくんだという取り組み方について紹介されていました。

子どもたちに対しては週に1回水曜日の夜に、野洲コミュニティセンターというところで、4つの部屋を開放して、おにぎりを作ってくれるボランティアと、勉強を教えてくれるボランティアの人たちと共に、子どもたちが年間を通して参加して、終わったら修了書まで出すという形で勉強の場を作られているという話を伺いました。

そして、午後からは、「どんな境遇にある子ども・若者も見捨てない」というテーマで、佐賀県の谷口仁史さんというNPOのかたなんですけど、もうこのNPO抜きに子どもたちの支援を考えられないくらい、佐賀県の中では非常に力のある活動をされているという取組について発表されていました。詳しく述べることはできませんが、こんなに素晴らしい取組があるのかと驚くものでした。皆さんにもぜひ知っていただきたいと思う話でしたので、お時間があれば調べてみてください。来年は滋賀県で全国大会があるという話も聞いてきたので、人権について、更なる学習や研究がされることを本当に期待したいなという思いで帰ってきました。



10月半ばぐらいから悪天候が続いていて、いろんな行事が各地で中止になったり延期になったりと、関係者のかたがたは大変な思いをされていると思うんですけども、一人の保護者としては、ずっと楽しみにしてきたジュニアスポーツフェスティバルが雨のため中止になるのは本当に残念でした。微妙な天気だったので、フィールドの状態にもよるだろうし、苦渋の決断をされたとは思いますが、延期ではなく中止というのは残念で、何かリベンジの行事をしてもらえないのかなという声が周りにあったことを伝えておきたいと思います。草津市の誇れる行事だと思っていただけに、やはり残念でした。

ただ、代わりに体育館で長縄の八の字跳びだけはするということがだったので、行って来たんですけど、いつも練習しているような体育館だったので、クラスの最高記録を出したりして、子どもたちにとっては先日の総合教育会議の内容にもあった、学級のみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあるという自己肯定感につながる経験の一つになったのかなとは思いました。一学期から練習していたクラスは、縄を回すスピードが明らかに違いましたし、一年のときから練習している学校は、やはりすごい記録を出すようですし、練習すればするほど上手になっていくのが分かりやすい種目だなと思っています。

あと、青少年美術展覧会をのぞかせていただきまして、当日は草津小学校の生徒も見に来ていまして、とてもにぎわっていました。幼稚園児から中学生まで、本当に力作ぞろいでした。立体の作品ではいろいろな素材が使われていて、特にタオルを使った作品が意外に思えて面白いなと思って見ていました。知っている子どもの作品が何点もあって、後日何人かの子どもたちに作品の感想について「良かったよ」と声を掛けると、照れくさそうにしているようだったんですけど、少しは喜んでいるといいなと思いつつ、親や先生以外の地域の大人が褒めることで、それが自己肯定感にもつながればいいなと思いました。

一点だけ、10月に教育委員にならせていただいて、ちょうど草津市美術展覧会の会期でございました。私も出品しているんですけども、例年よりも点数としては多かったのではないかなと思うんですが、出品者の多くが高齢者になってきているという問題が見受けられたように思います。私も実は20歳ぐらいから草津市美術展覧会には出させていただいているんですが、そういった年代からの出品が今回ほとんど無かったようです。書道はもちろん、絵画、彫塑、写真等も同様の危惧を持ちました。

草津市内には6つの高校があり、それぞれのところで芸術的な活動をされているとは思いますが、それらとの連携、または参加を促す等の取組が今後必要になるのではないかなと思いました。生涯学習の観点でしようし、また草津市美術展覧会という、長く続いていることだからこそ、何か今後の展開の仕方に

ついて考える必要があるのではないかと思います。

川那邊教育長

ありがとうございました。

それでは、教育長報告については、以上で終わらせていただきます。

—————日程第4—————

川那邊教育長

次に、日程第4、付議事項、議第41号「臨時代理の承認を求めることについて」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

教育総務課長

議第41号「臨時代理の承認を求めることについて」につきまして教育総務課の松浦から御説明を申し上げます。

議案書でございますが、3ページをお願いいたします。この度、御承認をいただく議案につきましては、教育委員会事務局の人事異動を行うに当たりまして、教育委員会の会議を招集いたします時間的暇がございましたことから草津市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条の規定に基づきまして、臨時代理をさせていただきましたので、御承認をお願いするものでございます。

4ページをお願いいたします。人事異動の概要でございますけれども、平成36年に滋賀県で開催されます第79回国民体育大会および全国障害者スポーツ大会に向けまして施設整備を進めていくために、スポーツ保健課内に施設整備グループを新設するものでございまして、具体的には下表の5名の者を兼務あるいは専任の職員として配置をするものでございます。

以上、誠に簡単ではございますが説明とさせていただきます。よろしく御承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

川那邊教育長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 質問なし —

川那邊教育長

では御異議はございませんか

各委員

— 異議なし —

川那邊教育長

異議もないようですので、議第41号は、承認されたものと認めます。

——日程第5——

川那邊教育長

それでは、次に、日程第5「報告事項」に入ります。  
事務局より、報告願います。

教育総務課長

報告事項、寄付の受け入れ報告につきまして、教育総務課の松浦が御説明申し上げます。

議案書は、最終ページ、2ページになりますので、そちらを御覧いただきますようお願いいたします。

前教育委員でおられます谷川尚己様より「絵本 金色のリンゴ」を市内の公立小中学校と図書館の方へ御寄付をいただいております。

以上、報告とさせていただきます。

よろしく願います。

川那邊教育長

はい、それでは、ただいまの報告事項につきまして御質問等ございませんか。

それではこれをもちまして、10月定例会を終わらせていただきます。

次回は、11月13日（月曜日）、午後4時00分から定例会を開催する予定です。よろしく願います。

ありがとうございました。

閉会 午後 4時00分